

# 自己評価等結果報告書

令和 6 年 3 月 28 日

宮崎県知事 殿

届出者 所在地 宮崎県都城市志比田町4526番地3  
事業者名 社会福祉法人ゆいまーる  
代表者名 理事長 迫田 善子

## 1. 事業所の状況

事業所の名称	放課後等デイサービス事業所ゆいまーる		
事業所の所在地	宮崎県都城市志比田町4526番地3		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
事業所番号	4550200416		
連絡先	TEL	0986-36-7012	E-mail <a href="mailto:yuimaru@yuimaru.biz">yuimaru@yuimaru.biz</a>

## 2. 取組時期

① 保護者等による評価	令和 6 年 3 月 11 日	～	令和 6 年 3 月 20 日
② 職員による評価	令和 6 年 3 月 21 日	～	令和 6 年 3 月 22 日
③ 事業所全体による評価	令和 6 年 3 月 25 日	～	令和 6 年 3 月 26 日

## 3. 公表方法

公表日	令和 6 年 3 月 28 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ ( URL: <a href="https://yuimahru-fun.com">https://yuimahru-fun.com</a> ) <input type="checkbox"/> 情報公表システム
公表内容 (届出書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所における自己評価結果 (公表用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表用)

担当者名	高橋 久美
連絡先	0986-36-7012

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月28日

事業所名 放課後等デイサービス事業所ゆいまーる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		サービス提供時間帯に余裕ある職員を配置している。	PT, OTの確保を今後も目指している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		×		専任職員が主の為、今後の課題としたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート内容や方法を見直すことを検討する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		×		第三者評価を受けることが五か年計画に盛り込まれている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			感染対策をとりながら、研修を行った。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		×		保護者からの指摘もあった為、今後の課題検討を行い、改善していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		×		その日の活動内容は周知しているが、まだまだ不十分な部分もある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		×		該当しないが、医療的ケアの対応ができるようにしたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		×		放課後等デイサービス連絡協議会に参加しているが、支援センターとはなかなか連携、研修はできていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		×		感染等の不安からできていないので、今後の課題。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			重心部会と相談支援部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		×		声掛け等はしているが、職員の知識不足もあり、不十分である。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		×		感染のことも踏まえてなかなか踏み切れていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		×		感染症の心配もあり、開かれた事業運営までは至っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者には文書等で周知しているが、伝わりきれていない部分もあるので、周知の仕方は今後も課題。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			権利擁護委員会を設置した事で、情報共有等が出来ている。更なる課題、改善などで議論し、今後も対応していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			リスク管理委員会を設置した事で、多くの職員に周知されている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月28日

保護者等数(児童数) 17 回収数 16 (94%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	0	0		・ほぼ満たされているが、より専門性を高めるため、PT、OT等を確保は必須である。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	3		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	0	0	3		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16	0	0	0		・活動プログラムが固定化している現状があるが、今後は五領域に応じて活動を展開していくことで改善される。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	0	1	1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	0	4	7		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	2	0	0		・苦情等は適切な対応をしているが、苦情内容までは公表をしていない為、どのような形ですべきなのか検討する必要あり。 ・感染の心配などもあり、なかなか開催できずにいましたが、保護者間での情報収集の場の設定、開催頻度など検討していく必要がある。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	2	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	10	2		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1	0	5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	1		
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	13	0	0	3		・災害に備えて、地震、火事などの練習は月ごとに曜日を変えて実施しているが、保護者への周知の仕方を今後検討していく必要がある
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	1	0	3		
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	4		・概ね満足されているが、現状に満足することなく、さらによりよい支援をめざす。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	1	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	16	0	0	0		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。